

今年の夏は、本道も異常だ。台風 10 号の惨禍は目を覆うばかりである。朔東管内では、十勝支庁上士幌における道路陥没による車両転落事故による行方不明者捜索に部隊が災害派遣し、足寄でも河川決壊防止の為に土嚢積みなどで災害派遣した。一方、日高支庁管内の災害は十勝の比ではない。亡くなった方や災害に遭遇された方や地域にお悔やみを申し上げると共に、行方不明者の早く発見されんことを切に望むものである。

さて、この休み間の小体験を紹介しよう。



(ふわふわドームで遊ぶ)

① 十勝川でのラフティング

十勝川上流岩丸から屈足湖までの約 2.5km を大型の特殊ゴムボートで下るものである。台風の余波で、水量が何時もの 3 倍弱 (110 トン/sec 位：ダム of 放水量から推定) で、泥流が渦巻く瀬と呼ばれる場所が 4 箇所。

ドライスーツ姿で、娘婿とボートの舳先近くに陣取る。操作性は意外に良いものだ。瀬で大波に乗り上げるとボートがジャックナイフになり、次の瞬間には叩きつけられる。その度に水飛沫が懸かり、黄色い悲鳴・喚声がかたまする。

幸いに誰も転落はしなかった。試みに濁流に身を任せてみる。ライフジャケットはかなり有効だ。

屈足湖は放水した為水位が下がり、カヤックは残念ながら中止、その代わりラフティングを 2 回、より荒々しい波を求めてガイドは誘導する。先程よりも一際高い喧騒だ。久々に童心に返っての水遊びであった。時には良いか。

② 足寄両国橋での花火大会

北海道を代表する、十勝毎日新聞社主催の十勝川での花火大会が昨年不幸な事故もあって今年度は中止された。その代替の意味合いもあって足寄町の花火大会を見学に行った。実は、その規模において、三分の一以下でもあり、大した事はあるまいと高を括っていたのだが、天候にも恵まれ、素晴らしい花火大会であった。

アイデア満載と評したら良いだろう。〇〇と名づけられた夫々の花火が、名調子の本職のアナウンサーに懸かるとそれらしく見えるから不思議だ。型花火も中々お目にかかれないものだ。中国花火も、賑やか過ぎる嫌いはあるが、クライマックスには打って付けである。

③ 馬の公園に遊ぶ！

鹿追町営の「shikaoui riding park」は、この種の施設としては道東随一である。初心者レッスンを受け、馬場で体験乗馬を少々楽しんだ。利口な馬に何か人間様がコントロールされているような変な気がする。視点が高いと言うのは、世界が変わるといふこ

とでもある。幼児や小さい子供さんには「引き馬」もあり、結構楽しんでいる。
馬の公園で遊んだ後は、町内のフラワーロードで、花を愛でるのも良い。

④ 十勝エコロジーパーク！

道立の都市公園はすでに開園しているものが、6 個(うち朔東管内では、「中標津町のゆめの森公園、網走市のオホーツク公園」、一部開園しているものが、十勝エコロジーパークと他に一個、整備中が 3 個である。

一期開園ということであり、当公園が、計画全ての完成をみるには後数年を要するようだ。孫達を連れて行って遊んだが、何と云っても子供から大人まで遊べるのが、「フワフワドーム」である。空気膜構造になっており、飛んだり跳ねたりする老若男女の嬌声が満ちている。お試しあれ。他に、地下からもくもくと湧き上がる霧と遊び戯れる「霧の遊び場」も面白い。キャンプサイトも整備されており、幕僚庶務室の、二家族と一組がキャンプを楽しんでいた。